

7月も あっという間に2週間が過ぎてしまいました。梅雨明けも 間近ですね。今年の成田祇園祭も、上町の皆様の温かなお心を賜りまして、先週10日(金)の初日、例年同様、先頭での山車引きにて 参加させていただきました。蒸し暑い中でしたが きらびやかな山車に「すごい…」と目を見張り、お囃子や掛け声に心を躍らせながら 子ども達は皆 汗びっしょりの笑顔で仲間達と力いっぱい綱を引いてがんばりました。山車引きを終えた後には、保護者会会長の小野寺さんのご厚意で用意してくださった参道の休憩所で、今年もまた 涼しい風と飲み物で元気回復し、それぞれに振り返り 想いを分かち合うひと時を過ごすことができました。また その上に、お知り合いのかき氷屋さんが「みんな よくがんばったから」とかき氷をプレゼントしてくださり 心温まるサプライズに、子ども達は 大歓声と拍手で大喜び！ ほんとうに感謝でした。その日の夜に、駿河屋さんで 大きな火災があったことを聞いて、胸を痛めましたが 90数名のお客さんやお店の方達が守られ 全員無事とのニュースにほっとしました。こんなことが起こるなんて…とつくづく驚きました。心よりお見舞いを申し上げます。

さて先月13日(土)には 毎年恒例の『同窓会』が 今年も賑やかに開催されました。3か月前に巣立って行った1年生から 中学生や高校生になった逞しい子ども達まで ほんとうに大勢の卒園生達が ここに足を運んでくれて嬉しい再会の時となりました。以前に勤務していた先生達も顔を出してくださり、一瞬にして 時間が戻ったような 何とも言えない 不思議で懐かしい喜びの空間に、保育園中が満たされた感じでした。どの子も皆「久しぶり～！」と会った瞬間は ちょっぴり緊張した表情を見せますが 部屋の中に入って少し経つと、もうすぐに 当時のあどけない笑顔が 戻っていました。学年や学校や性別などに こだわることなく、周りと打ち解けて 話したり 遊んだり。その微笑ましい皆の姿を さすが“つのぶえっ子！”と 嬉しく見守っていた私達です。元々 6年生までという形で行っていましたが、ここ最近になって子ども達の方から 「来年も 呼んでね」「毎年 来ていい？」と、リクエストされるようになったことで 年齢の制限を設けないことにしました。つのぶえのグループLINE でつながっていて 子ども達同士で声を掛け合い 当日参加するメンバーが増えたりして…！時代ですね。年に一度の、ほんとうにささやかな再会ですが、“保育園に帰る”というこの機会を 「ずーっと前から楽しみに ずーっと待ち遠しく思ってるよ」という声を聞いて、愛する子ども達の大切な心の故郷として、つのぶえをいつまでも守っていきたい！と どんな時も変わらず 心のオアシスで在りたいと強く想わされた今年の同窓会でした。そして私が何よりも嬉しく心強く感じたことは、つのぶえで培われた“神様の存在” “神様の愛”が 何年経とうとも 子ども達の心にしっかりと根付いている確信でした。久しぶりの礼拝を、ニコニコしながら懐かしい部屋で仲間達や先生達とまもりながら 讃美歌を歌い、祈り、まっすぐなまなざしで“神さまのおはなし”に夢中で耳を傾け 聖書の御言葉を真剣に味わっていた子ども達を通して、しなやかな強さを感じました。「たとえ みんなが神様を忘れても、神様はみんなのことを決して忘れないからね。」この私の言葉に しっかりとうなずいていた子ども達の心を、神様は何より祝福され、喜ばれていることと思います。“祈る存在があること” “自分が愛されていること” 子ども達の心の礎に在ることを実感し、これからも保育園から祈り続けていきたいと思いました。つのぶえのすべての子ども達の上に神様の平安と祝福がありますように。

「神は 愛です。(Ⅰヨハネ 4:16)」 (石田 記)